

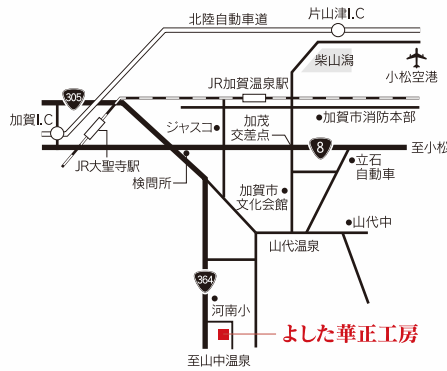
「漆」に魅せられて

漆芸 よした華正工房



宝尽蒔絵 朱金地 大衆 内梨子地

唐松蒔絵 大衆 内梨子地



漆芸 よした華正工房
〒922-0103 石川県加賀市山中温泉長谷田町口3660
TEL0761-78-0738 FAX0761-78-8738
http://www.kasyou.info/

吉田華正 略歴 yoshita kasyou

- 1940年 蒔絵師の長男として生まれる。 本名 利昭
- 1990年 全国漆器展 日本放送協会会長賞 受賞
- 1993年 日本伝統工芸石川支部展 日本工芸会賞 受賞
- 1994年 山中町文化財調査委員となる
- 1998年 通産大臣認定資格 伝統工芸士に認定
- 2004年 平成16年度 山中町産業功労賞 受賞
- 2007年 平成19年度 石川県伝統産業優秀技術者 受賞

全国の三越各店にて個展開催
他 全国各地百貨店等にて開催



一期一会のおもてなし

漆、Japanへのご招待

蒔絵体験教室

あなたも蒔絵に挑戦してみませんか？
工房にて漆茶碗等を使った蒔絵の
体験教室を実施いたします。
また、蒔絵についての講演も申し受けます。



うるし茶会

工房茶室にて華正の道具で揃えた茶会も
実施いたします。
全国各地百貨店等の個展時も
開催しますので是非ご参加下さい。

蒔絵体験教室・うるし茶会は事前予約制です。詳しくはお問い合わせ下さい。

継承

漆の起源は、はるか縄文時代とされる。以来その技法は進歩をとげ、洗練された美しい漆の作品は「JAPAN」の名で欧米に知れ渡る。風光明媚な景勝地・加賀山中温泉この地に漆が伝わったのは安土桃山時代天正年間とされる。現在、国内最大の漆器産地として栄える。よした華正工房は伝統の技に豊かな感性で独自の漆芸の世界を展開、多くの茶人、数寄者の熱い支持を得ている。



手毬蒔絵 朱金地
丸棗 内梨子地



光彩蒔絵
漆茶盃 内銀梨子地

挑戦

歴史を紐解くと太閤秀吉が漆器の抹茶盃を使用したとある。焼物が主流の抹茶盃において、漆で造ってみたらどうだろう。完成したのは予想をはるかに超えるものだった。手で持ち上げると見た目の重厚さに反してふわりと軽く、漆の暖かき、柔らかきが伝わり、さらに口当たりの優しさに驚かされる。「うるし茶盃」は漆と銀梨子地加工により、茶筌の傷が全くつかない堅牢で美しい逸品となり、又「うるしけんこう椀」はうるしと銀の相乗効果で驚異的な抗菌力を持つことが証明された。



硯箱 金地 秋草蒔絵



大棗 住吉蒔絵 内梨子地

未来

漆は環境にも人にもやさしい植物である。近年韓国において漆から抗がん剤が作られ学会で発表された。あらゆる分野で漆が注目されている証ではないだろうか。自然の恵み、漆を計画的に管理することにより漆は尽きることなく我々に恩恵をもたらしてくれる。よした華正工房はこのやさしい漆が日常生活のなかでもっと気軽に使える作品を提案したいと考える。



うるしけんこう椀
彩文 朱
内銀梨子地



水指 地球儀
内銀梨子地